

# スイカパスモが鍵に

## ソフトウェアで入退管理システム

【川崎】ソフトウェア(川崎市川崎区、常山勝彦社長、044-245-0975)は、関東学院大学の山本政宏教授、大生(東京都練馬区、樋沼一昭社長)と共同で、スイカ、パスモなどの非接触ICカードや携帯電話メールを使った入退室管理システム「PASSマスタ」を開発、9月から順次発売する。価格は基本版の小企業向けが18万129万円、オプション版の中企業向けが48万円から。年間100枚の販売を見込む。

同システムはPASSマ

スター(ソフト)とICデジタルロック、フェリカードター2時、リモコンサーバなどで構成。非接触ICカードを入退室用のカードとして登録

し、ドアノブの横に取り付けられた読み取り機に、登録したカードをタッチし鍵のロックを解除する仕組み。1度登録すると2回目以降は再登録

が不要となる。小規模企業向けはパソコン1台で社内勤務者、訪問者の入退室や非接触ICカードによる鍵の開閉、入退室ログの管理を

行う。カード管理は99枚まで。

中規模企業向けはサーバによる入退室管理で10月に発売予定。小企業向け機能に加え①複数ドア管理や使用者レベルの設定②勤務表の自動生成、管理、承認③勤務者の出勤状況や作業場所など特定機能④交通費の申請、管理、承認などの機能を持つ。